

支援センター名	石田町ボランティアセンター	
所在地	〒811-5215 長崎県壱岐郡石田町石田西触1486番地1	
連絡先	Tel 0920-44-6150	Fax 0920-44-8221

事業の概要とポイント

平成元年度からの「生涯学習の町づくり」の指定を受け、翌年から『急激な情報化や高齢化・国際化・核家族化等環境の変化に対応し、人間性豊かな生活を送るための新しい学習活動の必要性』を基本理念として、本事業『生涯学習フェスティバル（石田野広場）』を開催している。豊富なコーナーを設置し、コーナーの内容も楽しみながら体験的学習ができるようにしている。この事業には、多くのスタッフが必要となるため、スタッフへの協力依頼や適任者の人選などが必要である。

関係した学校・団体の名称

石田野広場実行委員会・石田町教育委員会・石田町中央公民館・石田中学校

地域の現況・特色

活動対象地域の壱岐郡石田町の人口は、4,900人である。

石田町は、九州北部の玄界灘にある壱岐の島の南東部に位置する自然豊かな町である。夏には、美しい海での海水浴やキャンプを目的に多くの観光客が訪れる。また、古代一支國の中心であったとされる「原の辻遺跡」もある。

平成元年度からの「生涯学習の町づくり」の指定を受け、基本構想の生涯学習推進構想

を打ち出し、「町づくりは人づくり」の基本理念に基づき進めている。年4回実施している「石田野塾研修会」をはじめ、各種生涯学習関連の事業も実施している。町民の生涯学習に対する意識は高く、公民館講座やカルチャー講座、各種研修会などへの参加者も多い。ボランティア意識も高く、様々なボランティア団体が、町内を中心に自主的な活動を展開している。

平成14年度「学校内外を通じた奉仕活動・体験活動推進事業」の委託を受け、町ボランティアセンターを主として、町教育委員会と連携し、青少年の奉仕活動・体験活動の体制整備



に向け、積極的に取り組んでいる。

企画から活動までの経緯

- 9月上旬 生涯学習フェスティバルのコーナーの内容及びコーナー担当者の案を作成
- 9月24日 生涯学習フェスティバル実行委員会を開催し、コーナーの内容及びコーナー担当者等の検討
- 9月下旬 コーナー担当者への協力依頼
- ～10月上旬
- 9月26日 中学校長へ「ヤングボランティアスタッフ」募集の趣旨説明
- 10月2日 町内校長会で、「ヤングボランティアスタッフ」募集についての趣旨等を小学校長に伝えた。
- 10月7日 町内各戸及び幼・小・中へ開催案内チラシの配布
中学校へ「ヤングボランティアスタッフ」募集チラシの配布依頼
- 10月26日 「ヤングボランティアスタッフ」との事前打ち合わせ
- 10月27日 第13回生涯学習フェスティバル【石田野広場】の開催。町内幼・小・中学生が多数参加。スタッフ約60名（ヤングボランティアスタッフを含む）
- 11月25日 生涯学習フェスティバル実行委員会を開催し、今年度の反省と次年度に向けての方向性の検討

事例の展開内容（特色など）

平成2年度から始まったこの生涯学習フェスティバルも、今回で13回目を迎えた。子どもたちの興味・関心の高い体験学習コーナーを数多く設け、参加した子どもたちが、楽しみながら色々な体験ができるようにしている。また、体験だけではなく、郷土の伝統や文化にふれるコーナーとして、中央公民館の婦人学級の参加者が、郷土料理の「ひきとおし」を出し、小中学生の和太鼓グループ「玄海太鼓82の会」が、オープニングで演奏している。

平成14度に「学校内外を通じた奉仕活動・体験活動推進事業」の委託を受け、実行委員会で「大人のスタッフだけでなく、今、ボランティア活動が大きく取り上げられているので、中学生に声をかけて、スタッフの一員として活動してもらってはどうか。」という意見が出たので、中学生の「ヤングボランティアスタッフ」を募ることとなった。今回からは、中学生に希望をとって、希望するコーナーを担当してもらうようにした。そのために、大人のスタッフにも「ヤングボランティアスタッフ」の趣旨を十分に理解してもらえるように説明し、希望があった場合には、受け入れてもらうようお願いをした。スタッフとして参加する中学生には、前日の午後2時間ほど打ち合わせ会を実施し、「ボランティアの意義」、「ボランティアとしての心構え」等を指導した。

コーディネーターは、主に大人のスタッフへの連絡・調整と中学生の「ヤングボランティアスタッフ」に関することを担当した。

企画・活動する上でのポイント、留意点など

- ・コーナーの大人のスタッフには、コーナーの内容に精通し、参加した子どもたちに指導できる方を依頼した。子どもたちの興味・関心や実行委員会での協議で決定しているので、コーナーの内容の変更は難しく、代わりを見つけることには大変苦勞した。そのことから、コーディネーターは、地域に密着した存在であるべきだと考えられる。
- ・中学生のスタッフを募るにあたり、中学校との連絡を密に行った。電話で連絡を取るのではなく、学校に出向き、趣旨等の説明を十分に行ったことで、中学校側の理解と協力を得ることができた。大人のスタッフに対しても、できる限り直接会って依頼するように心がけた。

評価

- ・大人のスタッフの中には、日頃、小中学生とふれあう機会が少ない方が多く、「子どもたちと接するよい機会になった。」と喜んでいて。また、その後、小中学校の授業で講師として招かれた方も多く、学校と地域住民をつなぐよい機会になったと考えられる。
- ・「ヤングボランティアスタッフ」として参加した中学生は、5名と少なかったが、担当したコーナーで、一生懸命に活動し、大人のスタッフからの評価が高かった。中学生スタッフが入らなかったコーナーからは、「自分のコーナーにも中学生のスタッフがいてくれたらよかったのに。」という声も聞かれた。実行委員会でも反省事項を協議した際にも、中学生スタッフの評判はよく、次年度も「ヤングボランティアスタッフ」を募集する方向でまとまった。小学校側からは「ボランティア体験の場として、中学生だけでなく、小学校の高学年も、ヤングボランティアスタッフの対象にしてほしい。」という声があり、次年度の実施に向けての検討課題となった。

【活動風景】



オープニング「玄海太鼓82の会」による太鼓の演奏



魚の三枚おろし体験コーナーの様子

楽習プログラム

プログラム	開催時間	スタッフ
文 化 展	9:00~15:00	
玄 海 太 鼓	10:00~10:20	
木 工	10:20~14:00	大人3名
野 点 (お 茶)	10:20~12:00	公民館講座茶道教室の方々
竹 細 工	10:20~14:00	大人2名
わ ら 細 工	10:20~14:00	大人2名
味 覚 の 里	10:30~12:00	中高年婦人会の方々
お 話 の 小 部 屋	10:20~13:00	壱岐の島親子文庫の方々
か ご 作 り	10:20~14:00	大人2名
マ ー プ リ ン グ	10:20~13:00	大人2名
魚 つ く り	10:20~13:30	大人3名
綿菓子・ポップコーン	12:30~14:00	町青年団の方々
デ ジ カ メ 撮 影	11:00~13:00	大人1名
伝 承 あ そ び	10:20~14:00	大人3名
バ ル ー ン ア ー ト	11:00~13:00	大人3名, 中学生1名
手 作 り ク ッ キ ン グ	10:30~14:00	大人1名, 中学生2名
石 の 彫 刻	10:30~12:00	大人2名
人 形 作 り	10:20~14:00	大人4名
ペ ー パ ー ク ラ フ ト	10:30~14:00	大人3名, 中学生2名
ス ト ラ ッ ク ア ウ ト	11:00~13:00	大人2名